

# 武蔵野市

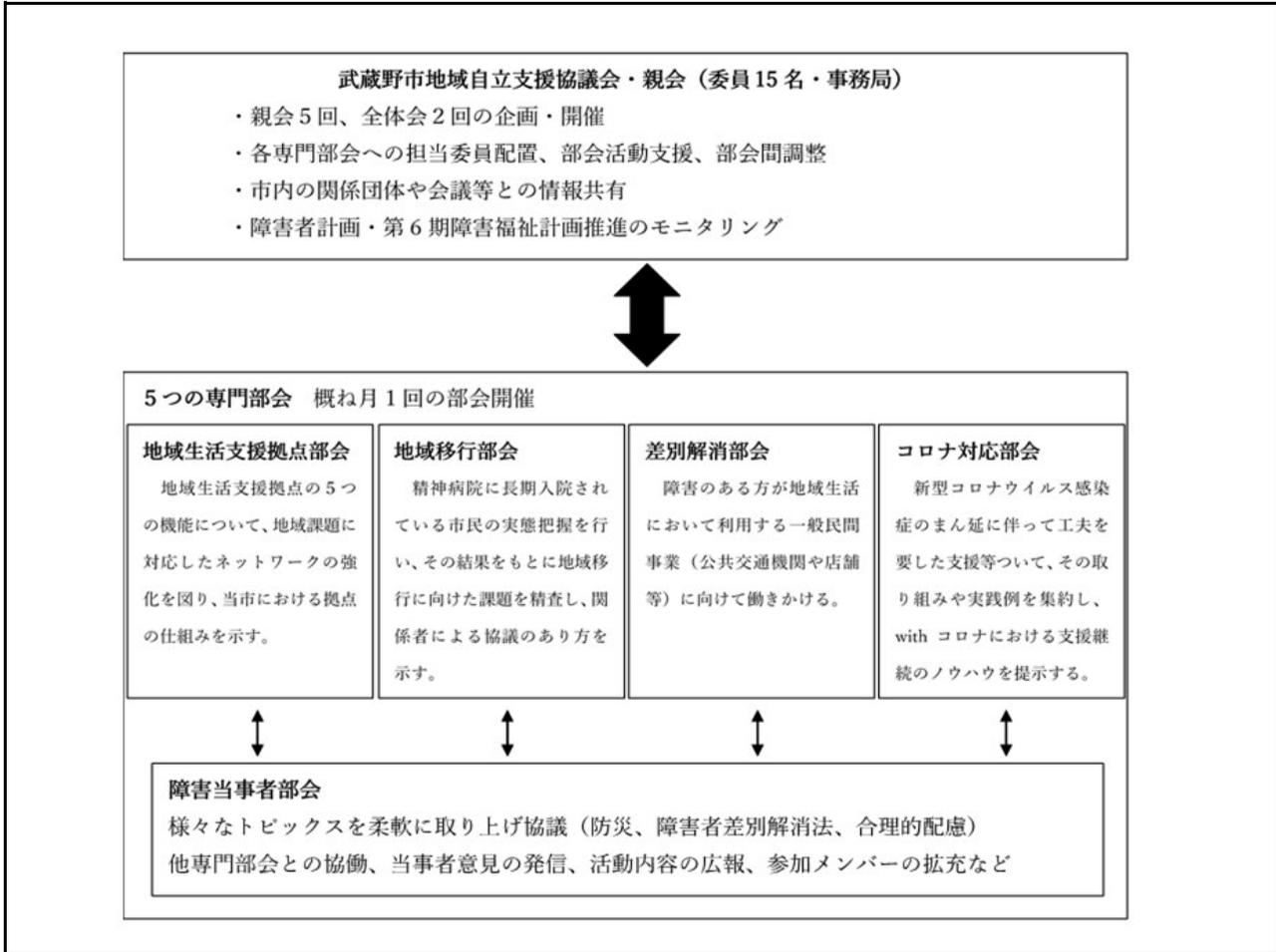
【名称】武蔵野市地域自立支援協議会

【ホームページURL】 [http://www.city.musashino.lg.jp/shisei\\_ioho/sesaku\\_keikaku/kenkofukushibu/1008259/index.html](http://www.city.musashino.lg.jp/shisei_ioho/sesaku_keikaku/kenkofukushibu/1008259/index.html)

【設置年月】平成20年1月

【運営方法】直営

【組織図】



## 【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
1	3	3	3	12	5

## 【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
② 整備中	令和5年3月	② 面的整備型

## 【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

### (1) 日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
① あり	令和3年3月

### (2) 自立支援協議会等への日中サービス支援型共同援助に関する事業報告・評価状況

① 設けている

## 【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
6	15 (1)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
地域生活支援拠点部会	6	14 (1)
地域移行部会	5	13 (2)
差別解消部会	7	13 (1)
コロナ対応部会	4	11 (1)
障害当事者部会	12	26 (16)

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数（再掲）

## 【全体会の委員構成及び活動内容】

## (1) 委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	0	保健所	1
教育関係機関	0	雇用関係機関	0	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	2	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	2
障害福祉サービス等事業者	5	社会福祉協議会	1	法曹関係者	1
民生委員・児童委員	1	地域住民	1	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	0		
合計	15				

## 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	委員長	岩本 操	武蔵野大学人間科学部人間科学科	学識経験者	
2	副委員長	植村 由紀彦	(社福) 武蔵野地域生活支援センターぴーと	相談支援事業者	
3		荒木 大輔	(社福) 武蔵野障害者支援施設わくらす武蔵野	障害福祉サービス等事業者	
4		安東 博	当事者部会部会	障害当事者・家族・関係団体	
5		小原 光文	特定非営利活動法人ミュー	相談支援事業者	
6		久保田 聡	明日の風法律事務所	法曹関係者	
7		栗原 玲子	東京都多摩府中保健所保健対策課地域保健第二担当	保健所	
8		佐藤 清佳	武蔵野市民生児童委員協議会第二地区	民生委員・児童委員	
9		佐藤 資子	(社福) 武蔵野千川福祉会武蔵境ワーキングセンター	障害福祉サービス等事業者	
10		佐藤 律々子	(株) 浩仁堂統括	障害福祉サービス等事業者	
11		長谷川 圭	特定非営利活動法人ゆうあいセンター	障害福祉サービス等事業者	
12		番園 寛也	市民公募委員	地域住民	
13		福本 千晴	当事者部会部会	障害当事者・家族・関係団体	
14		三浦 明雄	(社福) おおぞら会あすはKids	障害福祉サービス等事業者	
15		横山 美江	(社福) 武蔵野市民社会福祉協議会地域福祉推進係	社会福祉協議会	

## (2) 活動内容

「武蔵野市障害者計画・第6期障害福祉計画」の推進主体としての役割を担うとともに、計画全体の点検・評価に取り組む。  
 障害の理解促進、合理的配慮の考え方の普及啓発に向けて積極的に発信していく。  
 障害当事者・家族及びサービス事業従事者の活動を超えて、広く地域福祉の視点に立ち、多様な人々との連携と共生社会の実現に向けた地域の醸成を目指す。

## 【専門部会の委員構成及び活動内容】

### (1) 委員構成

部会名 種別	地域生活支援 拠点部会	地域移行部会	差別解消部会	コロナ対応部会	障害当事者部 会
学識経験者	0	1	0	0	0
医療関係者	0	0	0	0	0
保健所	0	0	0	0	0
教育関係機関	0	0	0	0	0
雇用関係機関	0	0	0	0	0
企業	0	0	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	1	2	1	1	22
身体・知的障害者相談員	0	0	0	0	0
相談支援事業者	1	0	0	0	0
障害福祉サービス等事業者	11	8	7	9	4
社会福祉協議会	0	0	1	0	0
法曹関係者	0	0	1	0	0
民生委員・児童委員	0	0	1	0	0
地域住民	0	0	1	0	0
行政職員(区市町村)	1	1	1	1	0
行政職員(都)	0	1	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	14	13	13	11	26

### (2) 活動内容

部会名	活動内容
地域生活支援拠点部会	地域生活支援拠点の5つの機能について、地域課題に対応したネットワークの強化を図り、本市における拠点の仕組みを示す。
地域移行部会	精神科病院に長期入院されている市民の実態把握を行い、その結果をもとに地域移行に向けた課題を精査し、関係者による協議のあり方を示す。
差別解消部会	障害のある方が地域生活において利用する一般民間事業（公共交通機関や店舗等）に向けて働きかける。
コロナ対応部会	新型コロナウイルス感染症のまん延に伴って変更や工夫を要した支援について、その取り組みや実践例を集約し、withコロナにおける支援継続のノウハウを提示する。
障害当事者部会	当事者の視点から本市の地域課題を提示する。

## 【地域協議会の活動状況】

### 1 地域協議会の協議事項（複数回答）

#### ③ 地域移行・地域定着支援に関すること

地域移行部会からの活動報告を受け、その方向性について確認した。  
知的障害のある方の自立生活への体験ができる場所と、住まい探しに協力的な不動産仲介業者との連携が継続的に必要であるという部会からの報告を受けた。

#### ④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること

65歳問題について。65歳を越えても障害福祉サービスを使い、生活の質を落としたいという当事者の声があるという部会からの報告を受けた。

## ⑤ 医療と福祉の連携に関すること

新型コロナワクチンの接種に関する情報へのタイムリーなアクセスや予約手続き、医療を受ける際にバリアがある事の共有をした。  
健康・安全・生命に関わることで、災害時と同様に重要である。

## ⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること

各専門部会からの活動報告を受け、その進め方等について確認した。  
当事者部会にて地域課題の提示。模擬選挙を開くにあたり、武蔵野市選挙管理委員会をはじめ、他部会や各事業所の方々に協力を頂いている。普段の生活の視点から考えると、武蔵野市地域自立支援協議会に参画されていない、警察・消防・教育・乳幼児分野等との連携も必要である。

## ⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

地域生活支援拠点部会からの活動報告を受け、その方向性について確認した。

## ⑪ 障害福祉計画等に関すること

各専門部会を障害福祉計画における主な地域課題と連動するように再編し、計画推進に努めた。

## ⑫ 地域自立支援協議会の運営に関すること

各専門部会を再編し、障害福祉計画を推進するような協議会運営を目指した。  
他専門部会の活動内容を把握し、専門部会間での連携がより行えるよう専門部会の議事録を適宜共有している。

## 2 地域協議会としての役割（複数回答）

## ② 情報共有・情報発信

親会は年2回の全体会を通して他の専門部会の活動を知り、部会間連携を支援する。

## ⑤ 地域課題の整理

各専門部会からの活動報告を受け、課題整理を行う。

## ⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

障害者計画・第6期障害福祉計画推進のモニタリングを行う。

## ⑨ 構成員の資質向上・研修の場

各専門部会に関連する研修会や学習会の開催支援を行う。

## 3-1 地域協議会における地域課題

## ① あがっている

## 3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

## ① アンケート、ヒアリング等

## ② 全体会、専門部会、各種連絡会等

## 3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

## ② 社会資源の開発及び改善

拠点整備を進める中で、社会資源に偏りがあることが認識できたが、解決方法について継続して検討している。

### ③ 権利擁護・虐待防止

障害当事者部会で長年続けてきている模擬選挙（選挙管理委員会事務局と協力し、実際の選挙で使用する物品や誘導員等を配置して行う模擬活動）が新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できなかった。  
障害のある方が地域生活において利用する一般民間事業（公共交通機関や店舗等）に向けて、事業所等との手紙による交流を行った。（新型コロナウイルス感染症の影響で、直接会えず関係づくりに苦労している。）また、合理的配慮等を啓発するようなポスター作製・掲示について検討している。

### ⑥ 緊急・災害等対応

拠点整備を進める中で、緊急・災害等の対応についての課題認識ができたが、解決方法について継続して検討している。  
新型コロナウイルス感染症のまん延に伴って工夫を要した支援等について、その取り組みや実践例を集約するためのアンケート調査について作業している。

#### ⑪ 地域移行・地域定着支援

精神科病床のある病院へ「障害者の地域移行に係る実態調査」を行った。

## 3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

### ⑤ 福祉人材(マンパワー)の確保

ヘルパー不足の解消。同性介助が難しいといった課題もあがっている。

### ⑥ 緊急・災害等対応

緊急・災害はいつ何時でも起こりえるため、東京都全体で自治体を超えた広域連携が必要ではないか。

### ⑦ 医療的ケア

「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」の施行に伴った施策が必要ではないか。

### ⑨ 教育支援

教育部門との連携。園や学校、生涯学習など広域かつ包括的な施策が必要ではないか。

### ⑩ 就労支援

働く選択肢の拡大と、その環境整備と支援が広域で必要ではないか。

## 4 地域協議会における当事者の参画状況

（当事者の委員がいる区市町村）

### 4-1 (1) 当事者委員が、どのような経緯で委員に選任されたか、又は、どのような所属、背景、経歴等の方か

設立当初から当事者には参画していただいており、専門部会の障害当事者部会から1名選出することとしている。  
なお、障害当事者部会のメンバーは広報などを通じて広く参加を募っている。

(2) 多様な当事者の委員（障害や難病の種別、性別、年齢等）に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

特になし。

(地域協議会を設置している区市町村)

- 4-2 当事者の委員だけでなく、地域で生活する多様な当事者（障害や難病の種別、性別、年齢等）の声を吸いあげられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

障害当事者に向けた広報誌を発行して送付するなどにより、情報提供に努めているが、幅広い声を吸い上げるにはより工夫が必要である。